七、分娩兒取扱數

年度	正規分娩	異常分娩	計	備考
昭和十一年度	五一二人	七四人	五八六人	
昭和十二年度	四七四	一〇六	五八〇	
昭和十三年度	五一一	八三	五九四	
昭和十四年度	五四六	九七	六四三	
昭和十五年度	四九五	一五三	六四八	

八、病院收入額

年度	入院料	診察料	治療料	藥料	雜收	計	備考
昭和三年度	一九四、五四〇・二〇〇円	四一、九二八・六九〇円	一九六、六七九・九五〇円	四六、五一七・三一〇円	一二三、九二七・五〇〇円	五九三、五九三・六五〇円	雜收は患者及付添人食料、醫療用器代、藥代、治療材料代、不用品拂下代、其の他雜入とす
昭和四年度	一九一、〇七三・三〇〇	四五、五七五・九八〇	二一一、七三九・九〇〇	四一、三五七・八一〇	一三七、九七八・七八〇	六二七、七三五・七七〇	
昭和五年度	一八九、〇五八・二〇〇	四一、九五三・六〇〇	二一三、八二一・九一〇	三五、二六二・〇七〇	一二五、九九九・六二〇	六〇五、七九五・四〇〇	
昭和六年度	一二四、四一〇・一〇〇	四四、三六三・〇三〇	一九八、七三三・六〇〇	二九、八〇五・三一〇	一〇五、八九〇・六八〇	五四三、二二三・六九〇	
昭和七年度	一二四、九二〇・八〇〇	三九、二七三・七七〇	一八〇、五八六・七九〇	二四、六四四・一三〇	一〇八、八四六・九四〇	五〇八、二七二・四三〇	

昭和八年度	一五九、三三三・〇〇〇	四〇、八七七・九一〇	二〇三、〇八八・四五〇	二五、七七九・六四〇	二一五、五四三・六二〇	五四三、六二二・六二〇	
昭和九年度	一六五、三二七・〇〇〇	四四、四〇七・五六〇	二二四、二七〇・四九〇	二三、〇〇七・五三〇	二一六、六二一・三三〇	五六三、五四三・九〇〇	
昭和十年度	一六八、一九六・五三〇	四三、六七七・九〇〇	二三七、七三九・八三〇	二一、〇八〇・六六〇	二一六、三四五・九八〇	五七六、九九〇・八七〇	
昭和十一年度	一六七、五四三・七〇〇	四三、三八四・七〇〇	二二四、九六〇・四六〇	一八、七五一・〇〇〇	一二三、五七三・三二〇	五五六、二二三・一七〇	
昭和十二年度	二三四、四三〇・〇五〇	四九、六四三・二〇〇	二五六、七一九・四二〇	二三、四九六・三五〇	一二九、一五三・六三〇	六八三、四四二・六九〇	本度より入院等級及料金を改整す
昭和十三年度	二八三、八九〇・三〇〇	六四、一六七・〇〇〇	三一六、三三一・三二〇	二八、七一八・六一〇	一三九、六一五・九〇〇	八三二、七三三・一三〇	
昭和十四年度	三三、七四一・六五〇	七七、六三〇・六七〇	三五二、五七九・二〇〇	三〇、七六二・九五〇	一三四、〇七一・〇六〇	九〇八、七八五・五三〇	
昭和十五年度	三三六、六四三・九〇〇	八五、一六二・二九〇	三八三、九一三・七〇〇	三五、八九二・三二〇	一一七、九三四・三三〇	九四九、五四五・三四〇	

附記

本表掲記の外大學附屬醫院に改稱後の各年度收入金左の如し。

年度	收入額	年度	收入額	備考
大正十一年度	四三七、八二四・六三〇円	大正十四年度	六〇五、四一〇・二一〇円	
大正十二年度	四三八、五七七・八三〇	昭和元年度	六二〇、二六四・三七〇	
大正十三年度	五二一、二六六・九三〇	昭和二年度	五八七、〇〇四・〇一〇	

九、病院支出額

年度	病院費	學用患者費	計	備考
昭和三年度	五三三、六五五・三五〇円	五一、九七七・九五〇円	五五五、五五五・二〇〇円	本表の外判任官以上の俸給及賞與等あるも之を計上せず
昭和四年度	四六五、五五三・一四〇	八九、三六六・九六〇	五五四、九二〇・一一〇	
昭和五年度	四三四、三一一・四九〇	八三、八九六・六二〇	五一七、二〇八・一一〇	
昭和六年度	四五八、二四〇・七六〇	六三、三〇六・三五〇	五二一、五四七・一五〇	
昭和七年度	四一七、五六八・三三〇	七八、九二一・五五〇	四九六、四七九・九二〇	
昭和八年度	四四七、一一六・二四〇	六八、三〇六・二七〇	五一五、四三三・五一〇	
昭和九年度	四四七、七六三・三八〇	五一、六〇〇・五六〇	五六九、三六七・九六〇	
昭和十年度	四七六、二九六・九四〇	五六、〇四五・六六〇	五三三、二四二・六〇〇	
昭和十一年度	四八六、〇〇三・二九〇	六一、一四三・二三〇	五四二、五七七・八一〇	
昭和十二年度	五三五、九八三・七六六	六四、二五六・〇七〇	五七七、一二六・九九六	
昭和十三年度	五九二、六三〇・一六〇	六五六、八八六・二三〇	六四六、八八六・二三〇	
昭和十四年度	六七四、〇〇三・一四〇	五九、〇〇九・〇三〇	七三三、〇〇二・一七〇	
昭和十五年度	六四二、〇八七・二三〇	六七、五六六・〇一〇	七三九、六八三・二四〇	

附記

本表掲記の外大學附屬醫院に改稱後の各年度支出額左の如し。

年度	支出額	年度	支出額	備考
大正十一年度	三九〇、一四一・六六〇円	大正十四年度	五〇四、七六八・三一〇円	
大正十二年度	四三三、七三七・四〇〇	昭和元年度	七三九、六八三・二四〇	
大正十三年度	四四六、九八〇・一四〇	昭和二年度	六三一、〇〇〇・七一六	

十、病院收入の歳入殘餘額

年度	患者總數	收入額 總額	收入額 患者一人當	支出額 總額	支出額 患者一人當	歳入殘餘額 總額	歳入殘餘額 患者一人當	備考
昭和三年度	三七、七三四人	五八三、五七三・六六〇円	二・六〇六円	五六五、五七五・二〇〇円	二・五七一円	八、〇一八・四五〇円	〇・〇三五円	經費は病院費及學用患者費の合計額を計上す從つて俸給の項に屬する判任官以上の俸給及賞與等を含まず
昭和四年度	二二一、六六二	六二七、七二五・七七〇	二・七一〇	五五四、九六〇・一一〇	二・三九六	七二、七五五・六六〇	〇・三一四	
昭和五年度	二二六、〇一四	六〇五、七九五・四〇〇	二・六八二	五一七、二〇八・一一〇	二・二六八	八八、五七〇・二九〇	〇・三九四	
昭和六年度	二〇九、六〇〇	五四三、二三二・六九〇	二・五九一	五二一、五四七・一五〇	二・四八八	二一、六七五・五四〇	〇・一〇三	
昭和七年度	一九七、〇三二	五〇八、二七二・四三〇	二・五八〇	四九六、四七九・九二〇	二・五一〇	一一、七九二・五一〇	〇・〇六〇	
昭和八年度	一九七、五六三	五四三、六二二・六二〇	二・七五二	五一五、四三三・五一〇	二・六〇九	二八、一九〇・一一〇	〇・一四三	
昭和九年度	一九八、五七〇	五六三、五四三・九〇〇	二・八三八	五〇九、三六七・九六〇	二・五六五	五四、一七五・九四〇	〇・二七三	
昭和十年度	二〇四、二四六	五七六、九九〇・八七〇	二・八二五	五三三、二四二・六〇〇	二・六〇六	四四、六四八・二七〇	〇・二一九	

昭和十一年度	二三八、四一五	五五六、二一三・一七〇	二・四三五	五四二、五七七・八一〇	二・三七五	一三、六五五・三六〇	〇・〇六〇
昭和十二年度	二四四、七九九	六八三、四四三・六五〇	二・七九三	五八七、一三六・九九六	二・三九九	九六、三一五・六五四	〇・三九三
昭和十三年度	二七九、二九一	八三三、七一三・一三〇	二・九八二	六五六、八八六・二三〇	二・三五二	一七五、八二六・九〇〇	〇・六三〇
昭和十四年度	二八九、〇九七	九〇八、七八五・五三〇	三・一四四	七三三、〇七三・一七〇	二・五三六	一七五、七一三・三六〇	〇・六〇八
昭和十五年度	二八七、一六七	九四九、五四五・三四〇	三・三〇七	七三九、六八三・二四〇	二・五七六	二〇九、八六二・一〇〇	〇・七三二

十一、病院主要消耗品の購入額

年度	藥品	研究用品及瓶類	綿、木綿類	寫眞用品	燃料	動物及飼料	賄用品	雜類	計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円
昭和三年度	三、七八一・二〇〇	三、〇三〇・〇七三	五、一五〇・三〇〇	五、二二七・七七〇	五〇、〇三三・五九五	一〇、七九六・七五九	三七、一三六・一〇〇	一七、二一八・四六三	一三二、三六三・二六〇
昭和四年度	一一、九七三・八八〇	二、七四三・九〇六	九、六二四・六三〇	五、七三六・〇八〇	四七、三三六・一〇三	一二、九八八・三〇〇	三九、二三九・五四〇	一六、三三三・四九四	一四五、九六四・九三三
昭和五年度	一一、七六一・三三〇	一、三三四・六四〇	六、八七三・八三四	三、八六七・九〇〇	四九、三二八・四七〇	一三、〇三六・〇七〇	三〇、四九二・九〇〇	一九、四八六・三三〇	一三六、〇七〇・四六四
昭和六年度	一〇、七六二・三〇〇	一、一八三・六五六	三、七〇五・五九三	四、七九三・八一〇	四二、七七四・七八〇	九、七六四・四四〇	二四、四六六・七六〇	一九、一九二・四九〇	一二六、六四三・八二九
昭和七年度	一〇、四四三・五〇〇	一、二二四・七四六	六、三〇七・九〇〇	五、六五六・九〇〇	四六、五六二・七九〇	八、九三三・六五三	二七、〇〇二・四八八	一六、〇八一・九〇〇	一三三、二〇一・八七六
昭和八年度	一一、六四九・五四〇	一、三七八・二六八	六、〇八〇・四六〇	七、二七一・三六〇	六九、七九九・八〇〇	一〇、一八一・八六〇	二八、八九四・三〇〇	一九、四三一・二二五	一五四、六八六・八一三
昭和九年度	一一、一八二・八八〇	一、三九八・三一五	八、五四一・四〇〇	七、四八三・六一〇	四六、九三三・三九〇	八、二二七・六一〇	三一、七三三・九七三	一七、四七四・二四〇	一三三、九五五・四一八
昭和十年度	八、三四七・四一五	一、七三五・四七二	六、二九九・〇五〇	七、八二〇・九一〇	七三、七三四・四七〇	七、一二九・八七〇	三三、四三二・九七〇	一六、二〇五・七六五	一五四、六九五・九二二
昭和十一年度	九、四六六・一三〇	一、八七七・一〇〇	八、九二七・五〇〇	六、四五六・八八〇	七〇、一六七・四三〇	一一、一五〇・三七六	三三、五六二・二九六	一五、七八七・五二〇	一五六、三九五・二三三
昭和十二年度	一四、〇六六・九七〇	一、七八一・三一〇	一二、〇七八・三〇〇	一〇、七九五・四四〇	七九、七一〇・六〇〇	一三、五七七・八九九	三七、八三四・四三〇	一六、三六七・三三〇	一八六、二二二・二六九
昭和十三年度	一〇、〇〇六・五七〇	三、七四三・七四三	一二、五七七・六五〇	七、九〇二・二八〇	一一三、九一〇・五五〇	一一、一七一・六八〇	四四、三四一・四七〇	一六、〇四三・八六〇	二二八、六九七・八〇三
昭和十四年度	一三、六一九・二八〇	六、三三六・二三九	三、一九四・一八六	一〇、六六四・九五〇	九六、八二〇・一六三	一三、六三二・二三三	四一、五六二・五五〇	一五、四六四・四五〇	一九九、二七四・〇四〇
昭和十五年度	一五、一七七・一八〇	三、九〇一・二〇〇	一八、九五三・六六五	一三、〇二九・四九〇	一〇五、八七三・九八七	二一、三〇〇・二〇〇	三四、八七〇・四〇〇	一五、五五八・〇〇〇	二三七、六六三・一一三

備考

本表分類に對する內容は下記購入品を集計したるものなり。

一、藥品　酒精、「ジアスターゼ」、純酒精、「鹽化アドレナリン」、「エーテル」、赤酒、昇汞、「グリセリン」、硼酸、「オキシフル」、酸素

二、研究用品及瓶類　「オベクトグラス」、「デツキグラス」、「アンプーレー」、點眼瓶、投藥瓶

三、綿、木綿類　「ガーゼ」、脫脂綿、天竺木綿、普通綿、繃帶木綿、卷軸繃帶

四、寫眞用品　乾板、「フキルム」

五、燃料　無煙炭、粉炭、塊炭、木炭、「コークス」、「ガソリン」、電力、瓦斯

六、動物及飼料　兎、「モルモツト」、「ラツテン」、「マウス」、猿、犬、豆腐粕、粉米、下白米

七、賄用品　玄米、胚芽米、牛肉、豚肉、鷄肉、鷄卵、牛乳

八、雜類　電球、上水道

附屬醫院建物の改築

當醫院の建物は大正十年三月の竣成にて未だ多くの年所を經さるも、右建物の大部分は岡山縣の寄附に係り其の工事中甚だしき物價騰貴の影響を受け、追加豫算成立したるも物價は倍々昂騰したる爲、縣財政の都合上極度の節約を加へ從つて建物の不完全なるは勿論、腐朽の程度甚たしきを以て、危險を感ずる箇所續出するに至り放任を許されざるに付、之が改築計畫を立て、總工費四、四四六、壹貳壹圓、八ケ年度の繼續工事として、昭和三年度より工事に著手し小兒科、炊事場、給水室、産科婦人科、汽罐室、第一外科、第二外科、耳鼻咽喉科及レントゲン科に屬する建物及其の設備は既に竣成を告げたるも、殘餘の皮膚科、藥局、本館中央部、眼科、第一內科、第二內科、磨工室及洗濯室其の他の事業場、本館東部及西部並各建物間を連繫する渡廊下等に對しては、今次の大東亞戰爭勃發に伴ひ、一切の新規豫算を認められざることとなりたるを以て、工事央にして中止するの止むなきに至りたるも、戰役終了後は豫算の成立と共に改築を實施せらるる見込なり。過去に於ける改築濟建物及其の工事費左記の通り。

區分	構造	建坪	延坪	工事費	備考
		坪	坪	円	
小兒科病室	鐵筋コンクリート造三階建地階付	二六八・〇二三	一〇四二・〇八八	三三七、九七四・一一〇	昭和十五年度末日現在に依り計上す
同	二階建地下室付	二〇二・三五六	六六六・七三三	二一六、五四〇・四二〇	
炊事場	木造平家建	一七・五〇〇	一七・五〇〇	外ニ 一、三一八・一九〇 七五〇・〇〇〇	
産科婦人科病室	鐵筋コンクリート造四階建地下室付	二七五、八三八	一、三三四、六六一	一、六八〇、五一〇	
汽罐室（原動裝置增設共）	木造平家建	二〇五、五〇〇	二〇五、五〇〇	外ニ 二二、二一〇・六二八 一〇五、四二一・〇〇〇	
第一外科病室	鐵筋コンクリート造五階建	二七六、七七五	一、三五二、七五三	一、六六、六七〇・〇〇〇	
第二外科病室	同四階建一部五階建	二七七、三三〇	一、三三七、三七三	一、九九、三八八・六〇〇	
レントゲン科研究室	木造二階建	五〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一二、三〇〇・〇〇〇	
耳鼻咽喉科病室	鐵筋コンクリート造五階建一部三階建四階建屋階付	三二九、〇五〇	一、二七〇、〇三〇	二一六、五九一・七五〇	
計		一、八二二、二七二	六、八三三、六三七	一、三五一、七八八・二五八	

以上は當醫院に於ける施設の大體に就き敍述したるものにして、過去に於ける經濟界の推移に伴ふ事業の消長が、如何に本院の經營に關し反影せるやを參考に供する爲、主として事業改善後に於ける業績を年次別に表示し、尙縣營時代に於ける規則類並事業の一端を、附錄として本誌の末尾に付加することとせり。

附屬醫院の諸料金

（昭和十五年度末日現在）

（一）普通料金

手數料　甲五圓以上、乙二圓五十錢以上、丙一圓以上、丁十五錢以上

處置料　甲二十五圓以上、乙十圓以上、丙一圓以上、丁十五錢以上

但し物理療法に關する料金は別に定むる所に依る

手術料　甲五十圓以上、乙二十五圓以上、丙十圓以上、丁一圓以上

但し所定時間外手術の場合は普通料金の三割增とす

藥料　吸入藥　三十錢

丸、散、水藥一日分　二十五錢

點耳、點鼻藥一〇瓦、鞣法藥六〇〇瓦、含嗽、拂拭、洗滌、消毒、灌腸藥六〇〇瓦　二十錢

頓服藥一回分、點眼、塗布、貼布藥一〇瓦、巴布一枚、塗擦藥一回（五瓦迄）尿道注入藥一〇〇瓦　十五錢

嗅入藥一〇瓦、座藥一個　十錢

發泡膏一枚　五錢

撒布藥一〇瓦　二錢

絆創膏類方一寸　一錢

賄料（一日分）　特等一圓、並等　六十五錢

院外患者運搬車使用料　一時間五十錢、雨雪泥濘難路夜間等　七十錢

扇風機使用料　一晝夜二十錢、夜間のみは　十五錢

但し患者の所有品を使用する場合は一晝夜十五錢、夜間のみは十錢

瓦斯使用料　病室內の瓦斯一立方米　十錢

其の他の場合は本學購入價格に一割を加算したる額

但し集會場設備の瓦斯混爐は一個一回　十錢

特別浴室入浴料　一人一回　二十錢

（二）健康保險患者、災害保險患者

手數料　普通料金の三割引

處置料　同

手術料　同

入院料　賄料を含む（一日分）　一圓八十錢

通院中の藥料　三割引

（三）應召軍人軍屬遺家族患者

手數料　普通料金の三割引

處置料　同

手術料　同

入院料　一階級下げ

賄料　普通料金とし割引せず

通院中の藥料　三割引

（四）鐵道從員及家族患者、遞信從業員及家族患者

手術料　普通料金の三割引　但し「レントゲン」料金は普通料金とす

處置料　同　但し注射料及「レントゲン」料金は普通料金とす

手術料　同

入院料　同　一割引

賄料　普通料金とし割引せず

通院中の藥料　三割引但し高價藥、容器代は普通料金とす

（五）盲人協會依託患者

手數料　免除

診察料　同

處置料　（一日分）

手術料　普通料金の三割引

入院料　免除

賄料　普通料金とし割引せず

通院中の藥料　同

（六）特別官費患者（職員及家族）

職員　手數料、處置料、手術料、免除　但し「レントゲン」科「フキルム」代は實費を徴收す

入院料、高等官は一等室、判任官及囑託員は二等室、雇員以下は三等室に收容し無料とす

但し治療の都合上、上級の病室に收容することを得

賄料　普通料金とし職員食の例に倣ふ

通院中の藥料　實費を徴收す

家族　手數料　普通料金の八割引

處置料　手術料同七割引但し實費に滿たざるときは實費額を徴收す

入院料　半額

賄料　普通料金とし割引せず

通院中の藥料　實費を徴收す

（七）三朝溫泉療養所

普通料金　入院料（一日分）　特等　六圓、一等　四圓、二等二圓五十錢、三等一圓五十錢

附添人滯泊料（一夜分）　同　八十錢、同　五十錢、同　三十錢、同　無料

其の他の料金は醫院普通料金を準用す

割引料金　應召軍人軍屬遺家族患者、遞信從業員及家族患者、特別官費患者は醫院割引料金を準用す

（附錄）

一、舊岡山縣病院規則

第一條　本院ハ汎ク患者ヲ診察治療シ併セテ岡山醫學專門學校生徒ノ臨床實習ヲナス所トス

第二條　本院ヲ左ノ三部ニ分ツ

醫務部
調劑部
庶務部

第三條　醫務部ヲ左ノ如ク分科ス但シ一科ヲ數個ニ別ツコトヲ得

內科
外科
耳鼻咽喉科
眼科
產、婦人科
小兒科

神經精神科

皮膚病花柳病科

第四條　患者ヲ別テ通常、學用ノ二種トシ之ヲ通院入院ニ區別ス

第五條　通常患者ニハ本院規定ノ藥價、手術料及入院料ヲ徵收シ學用患者ニハ之ヲ徵收セス

第六條　學用患者ハ岡山醫學專門學校生徒ノ實地演習用ニ供ス但シ本縣在籍ノ無告窮民ニシテ疾病ニ罹リタル者ハ學用患者定員ニ拘ラス本院經費ノ都合ニ依リ人員ヲ限リ施療スル事アルヘシ

第七條　學用患者ノ定員ハ一日平均八拾名以內トス

第八條　本院ノ休日ハ左ノ如シ但シ休日ト雖當直醫ヲシテ醫務ヲ取扱ハツム

日曜日、大祭日、年首年末（自十二月二十九日至翌年一月三日）

第九條　本院ノ經費ハ特別經濟トシ其ノ收支ハ縣經濟ニ屬スル規則ニ據ル

第十條　此規則施行スル細則ハ院長之ヲ定ム

二、舊岡山縣病院職務章程

第一條　本院ハ警察部ノ管理ニ屬ス

第二條　本院ニ左ノ職員ヲ置ク但シ各部科ニ副長ヲ置クコトヲ得

院長　壹名

副院長　壹名

部長　貳名（內科、外科ニ限リ之ヲ置ク）

醫長　拾名（各科ニ之ヲ置ク）

幹事　壹名

調劑部長　壹名

庶務部長　壹名

助手醫　無定員

調劑司　無定員

調劑司補　無定員

書記　無定員

技手　無定員

第三條　院長ハ知事ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ總理ス

第四條　院長ハ職員ヲ指揮監督シ其進退賞罰ハ之ヲ知事ニ具狀シ賜暇除服及雜給支辨ニ係ル傭員ノ進退賞罰ハ之ヲ專行ス

第五條　院長ハ職員ニ職務ノ分掌ヲ命スルコトヲ得

第六條　院長ハ規則第十條ニ依リ細則ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受ケ施行スヘシ

院長ハ毎年七月十日迄ニ翌年度ノ收支豫算ヲ調査シ警察部長ニ差出スヘシ

第七條　副院長ハ院長ヲ補佐シ院長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

幹事ハ警察部衛生課長ヲ以テ之ニ充テ院長ノ職務ヲ補佐ス

第八條　院内ノ事務ヲ左ノ三部ニ於テ整理ス

醫務部
調劑部
庶務部

第九條　醫務部ハ診察及治療ニ關スル事務ヲ掌理ス

第十條　調劑部ハ調劑及製劑ニ關スル事務ヲ掌理ス

第十一條　庶務部ハ文書、計算、調度其ノ他雜務ニ關スル事務ヲ掌理ス

第十二條　部長、醫長、調劑部長、庶務部長ノ職務左ノ如シ

部長ハ院長ノ指揮ヲ承ケ其ノ管掌ノ事務ヲ辨理シ所屬醫長及其ノ他ノ部員ヲ指揮監督ス

醫長、調劑部長、庶務部長ハ院長及所屬部長ノ指揮ヲ承ケ其ノ管掌ノ事務ヲ辨理シ所屬科部員ヲ指揮監督ス

第十三條　副長ハ醫務部ニ在リテハ醫長ノ職務ヲ補佐シ調劑部、庶務部ニ在リテハ其ノ部長ノ職務ヲ補佐シ所屬長事故アル時ハ其ノ職務ヲ代理ス

第十四條　助手醫ハ醫務部ノ事務ニ從事シ院長及所屬部長醫長ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌ル

第十五條　調劑司、調劑司補ハ調劑部ノ事務ニ從事シ院長及調劑部長ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌ル

第十六條　書記ハ庶務部ノ事務ニ從事シ院長及庶務部長ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌ル

第十七條　技手ハ專門ノ事務ニ從事シ院長及所屬長ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌ル

三、舊岡山縣病院事務細則

第一章　職務分掌

第一條　醫務部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一　患者ノ診察治療ニ關スル事項
一　消毒法ニ關スル事項
一　看護法ニ關スル事項
一　統計ニ關スル事項
一　帳簿ノ整理ニ關スル事項
一　部内各室、各所ノ整理取締ニ關スル事項
一　部内ノ器械、器具、書籍及物品ノ整理、保管ニ關スル事項

第二條　調劑部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 調劑、製劑、滋養品ノ整理供給及藥品ノ眞贋、精粗、鑑別ニ關スル事項
一 藥品ノ管理及其ノ出納ニ關スル事項
一 帳簿ノ整理ニ關スル事項
一 處方箋ノ管理ニ關スル事項
一 統計ニ關スル事項
一 部內各室、各所ノ整理取締ニ關スル事項
一 部內ノ器械、器具、書籍及物品ノ整理、保管ニ關スル事項

第三條 庶務部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 出納ニ關スル事項
一 調度ニ關スル事項
一 營繕ニ關スル事項
一 院內ノ規定ニ關スル事項
一 文書ノ發送ニ關スル事項
一 職員ノ進退、賞罰ニ關スル事項
一 雜給傭員ニ係ル身分及其ノ進退、賞罰ニ關スル事項
一 帳簿ノ整理ニ關スル事項

一 統計ニ關スル事項
一 院內ノ取締ニ關スル事項
一 勤怠簿ニ關スル事項
一 患者賄方ニ關スル事項
一 患者ノ附添人ニ關スル事項
一 清潔法ニ關スル事項
一 消毒ニ關スル事項
一 受付ニ關スル事項
一 裁縫ニ關スル事項
一 洗濯ニ關スル事項
一 蒸汽機關及電燈ニ關スル事項
一 院內ノ器具、物品管理ニ關スル事項
一 部內ノ器具、物品保管ニ關スル事項
一 前各項ノ外各部ニ屬セサル件ニ關スル事項

第二章 通則

第四條　規則、職制及事務細則ニ基キ誠實明確ニ事務ヲ辨理シ延滯セシムヘカラス

第五條　執務時刻マテニ必ス昇院シ自ラ動怠簿ニ捺印シ而テ後各自ノ主務ニ從事スヘシ此手續ヲ履行セサルトキハ不參ノ印ヲ捺スモノトス

第六條　病氣又ハ父母祭日若ハ忌中等ニテ昇院セサルトキハ其ノ旨ヲ記シ昇院時刻迄ニ所屬醫長、部長ヲ經テ院長ニ屆出ヘシ但シ昇院時刻三十分ヲ過キ屆出サル者ハ無屆缺勤ノ印ヲ捺スモノトス

第七條　歸省又ハ墓參若ハ病氣療養ノ爲旅行セントスルトキハ其ノ事由及日數並行先地ヲ記シ所屬醫長、部長ヲ經テ院長ヘ願出テ許可ヲ受クヘシ其ノ日數ヲ過ルモ尙歸院スルコト能ハサルトキハ追願許可ヲ受クヘシ但シ病氣療養ニ係ル願書ニハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第八條　賜暇中旅行ヲ爲サントスルトキハ其ノ日數及行先地ヲ記シ所屬醫長、部長ヲ經テ院長ニ屆出ヘシ但シ年首年末ノ休暇中ニ係ルモノハ出願許可ヲ受クヘシ

第九條　諸般ノ事務ニシテ其ノ處分ノ決議ヲ要スルモノハ總テ回議案ヲ作リ所屬醫長、部長ノ同意ヲ經若ハ他部科ニ關係スルモノハ關係醫長、部長及部科員ヘ合議シ院長ノ裁決ヲ得テ施行シ其ノ回議案ハ庶務部ヘ回付スヘシ但シ一部科限リノ事件ニシテ輕易ナルモノハ所屬醫長、部長ノ決ヲ得テ施行スルコトヲ得

第十條　各部ニ於テ器械、器具類又ハ消耗品若ハ修理品等ヲ要スルトキハ物品取扱主任者ニ於テ其ノ品名個數及所用ノ理由ヲ請求用紙又ハ請求簿ニ記載シ醫長、部長ノ認印ヲ受ケ之ヲ庶務部ニ回付スヘシ但シ庶務部ニ屬スルモノハ本文手續ニ依リ直ニ院長ノ裁決ヲ受クヘシ

第十一條　前條ノ手續ヲ經テ物品ヲ庶務部ヨリ受取タルトキハ交付簿ニ調印スヘシ

第十二條　備付ノ諸器械、器具及書籍ハ所屬部ニ於テ整理シ毎月一回點檢シ破損或ハ紛失等アルトキハ物品取扱主任者ハ理由ヲ詳記シ物品監守者ヲ經テ物品出納吏ニ報告スヘシ

第十三條　諸器械、器具及書籍等ハ猥リニ院外ニ携帶スルコトヲ許サス

第十四條　物品出納ハ縣經濟ニ屬スル物品出納規程及本院物品出納順序ニ據ルヘシ

第三章　助手醫

第十五條　助手醫ハ院長ヨリ發スル命令及所屬醫長ノ指示ニ依リ定期又ハ臨時ニ各種ノ報告書類ヲ作ルヘシ

第十六條　通常通院患者ノ手術及手數料ハ前納セシムヘシ但シ急患者ニシテ本文ノ手續ヲ爲サシムル遑ナキ場合ハ此限リニアラス

第十七條　通院患者診察ノ際ニハ毎常必ス診察券ヲ査閲シ是ヲ携帶セサルモノ又ハ其ノ有效期ヲ經過シタルモノハ更ニ手續ヲ履行セシムヘシ

第十八條　處方箋ノ記事及文字ハ疑義ヲ生セサル樣明瞭ニ記スヘシ

第十九條　藥劑等ノ用法ハ反覆叮嚀ニ說明スヘシ

第二十條　入院ヲ許可スルトキハ其ノ許可證ヲ本人ニ交付スヘシ

第二十一條　患者入院及退院ノ際ニハ通知簿ニ其ノ姓名並病室ノ等別及月日ヲ記シ受付係ニ回付スヘシ但シ退院ニ

係ルモノハ其ノ處方箋ヲ添付スルコト

第二十二條　入院患者ノ病症、經過、療法等ハ病床日誌ニ詳記スヘシ

第二十三條　入院患者ニ投與シタル藥劑ハ其ノ用法ヲ誤ラサル樣監督スヘシ

第二十四條　入院患者ノ看護上ニ付特ニ注意スヘキ點ハ之ヲ看護婦ニ指揮スヘシ

第二十五條　入院患者ニ翌日投與スヘキ處方箋ハ前日、日沒時迄ニ調劑部ニ回付スヘシ

第二十六條　醫長、病室ヲ回診スルトキハ之ニ隨從シテ介補爲スヘシ

第四章　調劑司、調劑司補

第二十七條　調劑司及調劑司補ハ院長ヨリ發スル命令及調劑部長ノ指示ニ依リ定期又ハ臨時ニ各種ノ報告書類ヲ作ルヘシ

第二十八條　處方箋ニ醫員及藥價收納濟ノ印證（入院患者ハ藥價收納ノ印ヲ要セス）ナキトキハ調劑スヘカラス但シ急患者ニ對シテハ藥價未納ト雖書記ノ印證アルモノハ此限ニアラス此ノ場合ニ於テハ調劑ヲ了ヘタル後該處方箋ハ一應取扱書記ニ還付スヘシ

第二十九條　藥價收納濟ノ處方箋ニ對シ改竄ヲ要スル場合ニハ取扱主任書記ニ交渉シ更ニ藥價ノ過不足ヲ改算セシムヘシ

第三十條　調劑藥容器ニハ內外用ノ區別（內用ハ白紙外用ハ赤紙）及用法ヲ明記シ且封緘シ其ノ藥品、劇毒、危險ナルモノ又ハ特ニ心得方ヲ要スルモノハ交付ノ際注意ヲ與フヘシ但シ學用又ハ施療患者ニハ容器ニ其ノ印章ヲ捺スヘシ

第三十一條　入院患者ノ通常處方ハ可成速ニ調劑シ翌朝ノ配付ニ差支ナキ樣之ヲ整理スヘシ但シ急患ノ處方ハ卽時、臨時ノ處方ハ可成速ニ調劑スヘシ

第三十二條　外來患者ノ處方ハ速ニ調劑シ患者ヲシテ徒ラニ時間ヲ空クセシムヘカラス

第三十三條　調劑ハ處方箋受付ノ順序ニ從フヘシ調劑了リタル時ハ取扱調劑司ハ處方箋ニ捺印シ然ル後藥價收納ノ證ト引替ヘ交付スヘシ但シ學用又ハ施療患者ハ此際治療券ヲ査閲スヘシ

第三十四條　處方箋中疑ハシキ處アルトキハ必ス當該醫員ニ質スヘシ

第三十五條　調劑濟ノ處方箋ハ日々之ヲ編綴シ嚴重ニ保存スヘシ

第三十六條　在庫ノ藥品ヲ出サントスルトキハ部長ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十七條　藥庫ノ鎖鑰ハ部長管理スヘシ但シ部長事故アル時ハ首席ノ調劑司之ヲ保管スヘシ

第三十八條　患者ニ投與スル牛乳ハ藥品ニ準シ取扱ヒ其ノ良否ヲ檢査シ規定ノ消毒法ヲ施シタル後受持看護婦ニ渡スヘシ

第三十九條　調劑司又ハ調劑司補不在ノ時ハ部內各所ノ出入口ヲ閉鎖シ置クヘシ

第五章　書記

第四十條　書記ハ院長ヨリ發スル命令及庶務部長ノ指示ニ依リ定期又ハ臨時ニ各種ノ報告書類ヲ作ルヘシ

第四十一條　藥價其ノ他ノ收入金ハ其ノ取扱所ニ於テ取扱フヘシ但シ縣金庫閉鎖時間前後ハ此限ニアラス

第四十二條　前條ノ收入金ハ規定ノ徵收金額ニ據リ收入シ其ノ取扱方ハ縣特別經濟金取扱規程ニ依ルヘシ

第四十三條　藥價、手術料、手數料等ハ前納セシムヘシト雖急患者ニシテ其ノ手續ヲナスノ遑ナキ場合ニ限リ後納トスルコトヲ得但シ此場合ハ取扱書記ニ於テ處方箋ニ認印シ證左トスヘシ

第四十四條　初診患者ノ手數料ヲ收納シタルトキハ診察券ヲ交付スヘシ

第四十五條　毎日ノ收入金ハ縣金庫收入金高ト縣出納吏收入簿及處方箋ト照査スヘシ

第四十六條　患者入院スルトキハ制規ノ入院證書ヲ徵シ入院原簿ニ記載スルト同時ニ其ノ姓名病室等ヲ賄方ニ通知セシメ退院ノ際モ亦此通知ヲナサシムヘシ

第四十七條　入院患者ノ姓名札ヲ掲ケ其ノ出入ヲ明確ニスヘシ

第四十八條　醫員ヨリ入院患者ノ病症、危篤又ハ死亡ノ通知アリタル時ハ速ニ證人又ハ親戚等ニ通知スヘシ

第四十九條　各部、科ヨリ請求ノ諸物件ハ規程ニ照シ澁滯ナク處辨スヘシ

第五十條　院內ヲ巡視シ諸事取締方ヲ嚴重ニスヘシ

第五十一條　備品、消耗品ハ規程ニヨリ取扱フヘシ

第五十二條　勤怠簿ヲ調査シ通則第五條但書及第六條ノ手續ヲ處置スヘシ

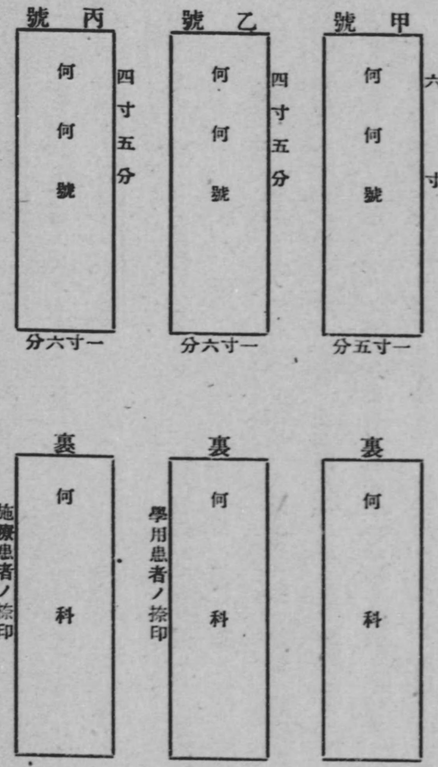
第六章　受付係

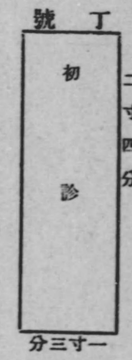
第五十三條　受付係ハ受付ニ關スル事務ニ從事スルモノトス

第五十四條　患者及其ノ他ノ來院者ニ對シテハ叮嚀親切ニ取扱フヘシ

第五十五條　通常患者初診ノ者ニ對シテハ診察手數料ノ徵收手續ヲ爲スヘシ

第五十六條　通常通院患者ニハ甲號籬形ノ受診札ヲ學用又ハ施療通院患者ニハ乙號又ハ丙號籬形ノ受診札ヲ渡スヘシ但シ初診患者ニハ別ニ丁號籬形ノ札ヲ添フヘシ





第五十七條　患者ノ使ヲ以テ藥劑ヲ需ムル者ニハ前條甲號雛形ノ札ヲ渡シ其ノ診察所ニ到リ處方箋ヲ受取ラシムヘシ

第五十八條　患者入院ノ通知アリタル時ハ先ツ制規ノ入院證書ヲ徵シ證書ニ病室ノ番號ヲ記入シ醫員ノ通知簿ト共ニ庶務部ヘ廻送スヘシ但シ退院ノ時ハ醫員ノ通知簿及其ノ處方箋ヲ廻送スルコト

第五十九條　前條入院ノ手續ヲ爲スト共ニ所屬科ノ看護婦ヘ通知シ諸般ノ準備等ヲナサシメテ患者ヲ案內スヘシ

第六十條　職員ニ面會セントスル者アルトキハ先ツ應接所ニ案內シテ所用ノ向ヘ通告スヘシ

第六十一條　書信及其ノ他ノ郵便物等ハ之ヲ受付簿ニ記載シ其ノ受渡ヲ誤ルコトナキ樣鄭重ニ取扱ヒ迅速、宛名者ニ送達スヘシ

第六十二條　入院患者ニ面會セントスル者又ハ見舞人等ハ點燈時後ハ可或之ヲ謝絕スヘシ但シ特別ノ事情アル者ハ庶務部ノ指揮ヲ受タヘシ

第六十三條　出入者ハ嚴重ニ取締リ午後十時限リ門戶ヲ鎖シ之ヲ禁スヘシ但シ特別ノ事由アル者ハ此限リニアラス

第六十四條　傳染病患者ノ見舞人又ハ面會人ニハ醫員ノ許可書ヲ得テ交付スヘシ

第七章　看護婦

第六十五條　看護婦ハ醫員ノ指揮ヲ受ケ患者ノ看護ニ從事スルモノトス

第六十六條　本院ニ採用スル看護婦ハ左ノ資格ヲ備ヘ家事ニ係累ナキ身元確實ナル者ニ限ル

一　體格强壯ナル者

二　品行方正性質溫良ニシテ耐忍力ニ富メル者

三　看護學ヲ修メタル證書ヲ有スル者若クハ滿一年以上實地看護ニ從事シタル履歷アル者

四　年齡滿十六年以上ノ者

五　岡山市又ハ岡山市接續町村ニ於テ身元確實ナル保證人ヲ有スル者

第六十七條　志願者ハ左ノ書式ニ據リ志願書ニ履歷書ヲ添ヘ保證人連署差出スヘシ

看護婦志願書

府縣國市郡町村大字番地身柄

戶主何某及ヒ戶主トノ關係

何ノ誰

生年月日

右者御院看護婦志願ニ付御採用相成ル上ハ精勤可致ハ勿論且本人身上ニ係ル一切ノ事項ハ保證人ニ於テ悉皆引受辨理可仕依テ此段率願候也

年　月　日

右

岡山縣病院長姓名殿

第六十八條　看護婦採用ノ上ハ左ノ書式ニ據リ誓約書ヲ差出スヘシ

誓　約　書

一、私儀今般御院看護婦ニ御採用相成候ニ付御規則並時々御觸示シ相成候事堅ク可相守ハ勿論來ル大正何年何月迄ハ私事ノ故障ニテ辭職等願出間敷依テ誓約仕候事如件

年　月　日

岡山市町番地職業身柄

保證人　何　ノ　誰印

看護婦　何　ノ　誰印

岡山縣病院長姓名殿

第六十九條　勤務時間中ハ必ス制服ヲ着用スヘシ

第七十條　看護婦中ヨリ撰拔シテ看護婦長又ハ取締ヲ命シ各分科ニ配置ス

第七十一條　看護婦長又ハ取締ハ部内ノ看護婦ヲ督勵シ病室内ノ秩序ヲ保ツヘシ

第七十二條　看護婦長又ハ取締ハ病室備付器具類及消耗品等保管並其ノ受渡ニ關スル一切ヲ整理スヘシ

第七十三條　看護婦長又ハ取締ハ看護上及庶務ニ關スル責任者タルヘシ

第七十四條　看護婦長又ハ取締ハ部内看護婦ヨリ差出ス諸願屆書等ノ檢閲ヲ遂ケ捺印スヘシ

第七十五條　看護婦長又ハ取締ハ部内看護婦ノ勤怠、品行其ノ他身上ニ注意シ且監督者ニ對シ意見ヲ陳フルコトヲ得

第七十六條　看護婦長又ハ取締ニシテ本章特ニ記載ナキ條項ハ總テ看護婦ノ條項ヲ守ルヘシ

第七十七條　看護婦ハ看護婦長又ハ取締ノ監督ヲ受ケ誠實ニ執務スヘシ

第七十八條　看護婦ハ病室内ノ諸物品ヲ整備スヘシ

第七十九條　自已病氣ノ他缺勤シ得ヘキ箇條ハ左ノ各項ニシテ證據書類ヲ添付シタル願書ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ

一、祖父母、父母、夫子、兄弟姉妹、父母ノ兄弟姉妹又ハ同居ノ親族死亡ノトキ、

二、祖父母、父母、夫子、又ハ同居ノ親族病氣ニ罹リ看護者ナキトキ

三、父母又ハ夫ノ祭日ニ該當セシトキ

第八十條　外出スルトキハ所屬醫員ノ許可ヲ受ケ其ノ都度庶務部ヘ申出必ス外出券ヲ携帶スヘシ但シ歸院シタル時ハ直ニ外出券ヲ返納スルモノトス

第八十一條　外泊セントスル時ハ其ノ宿泊地ノ番邸、氏名ヲ記シ庶務部ヘ差出スヘシ

第八十二條　滿六ケ月間皆勤シタルモノハ爾後六ケ月以内ニ五日間ノ皆勤休暇ヲナスコトヲ得但シ皆勤者ニハ皆勤

證書ヲ附與スルモノトス

第八十三條　患者ノ治療上ニ關スルコトハ一々醫員ノ指揮命令ヲ受ケ苟モ專斷ノ所爲アルヘカラス

第八十四條　諸願屆等ハ總テ看護婦長又ハ取締ヲ經由スヘシ

第八十五條　入院患者又ハ附添人若クハ來訪人等ノ成規ニ違背スル行爲アルトキハ懇篤ニ說示シ尙ホ用ヰサルトキハ醫員及庶務部員ニ報告スヘシ

第八十六條　醫員ヨリ患者ノ處方箋ヲ與ヘラレタル時ハ藥劑ノ用法ヲ聞取リ直ニ之ヲ調劑部ニ差出スヘシ

第八十七條　調劑部ヨリ藥劑ヲ與ヘラレタルトキハ其ノ取扱保存方等ヲ聞取ルヘシ

第八十八條　藥劑ノ運搬ニハ極メテ注意シ之ヲ速ニ患者ニ配付シ其ノ用法取扱方ヲ指示シ過誤ナカラシムヘシ

第八十九條　常ニ藥劑ノ供給ニ注意シ患者使用シ了リタルトキハ直ニ再與ノ手續ヲ爲スヘシ但シ無用ノ藥劑及空瓶ハ速ニ調劑部ニ返附シ患者ノ枕頭ニ排列スヘカラス

第九十條　危篤ノ患者ニ就キテハ休溫、呼吸、食慾、便通、便質、尿通、疼痛等ニ注意シ可成醫員ノ推問ニ答辨シ得ラル、樣心懸クヘシ

第九十一條　受持患者ニ急變ヲ發シタルトキハ卽時醫員ニ報告スルハ勿論他科ノ患者ト雖其ノ急變ヲ知リタルトキハ直チニ所屬看護婦又ハ醫員ニ通報スヘシ

第九十二條　隔離病室ノ看護婦ハ他室ト交通スヘカラス

第九十三條　入院患者ニシテ他科ノ診察ヲ請フ者アルトキハ醫員ニ申出其ノ手續ヲナスヘシ

第九十四條　每夜十時ニハ必ス受持病室等ヲ廻リ患者ノ動靜ヲ見屆ケ醫員ヘ報告シ又室內等ニ異狀アルトキハ一面庶務部員ニ報告スヘシ

第九十五條　看護婦ハ特ニ左ノ條項ヲ遵守スヘシ

一、業務ニ倦怠セズ溫和、篤實ヲ旨トシ宜ク禮節ヲ守リ患者ニ懇切叮嚀ニスヘシ

一、貴賤、貧富ノ別ナク一視同仁、誠實ヲ以テ之ニ接スヘシ

一、凡テ秩序ヲ紊サス淸潔ヲ保持スヘシ

一、器械、器具等ヲ大切ニ取扱フヘシ

一、所用ナクシテ各室、各所ニ入ルヘカラス

一、病室內ニ於テ飮食スヘカラス

一、患者及其ノ關係者ヨリ金品ノ贈與ヲ受クヘカラス

一、猥リニ患者ト雜話スヘカラス

一、人ノ批評ヲナスヘカラス

第八章　器械師、機關士、給仕、小使、掃除夫、裁縫人、洗濯人、火夫、廚夫、配膳夫、雜使

第九十六條　器械師等ハ職員ノ指揮ヲ受ケ各所屬受持ノ業務ニ從事スルモノトス

第九十七條　示命ヲ受ケタル諸般ノ用務ハ速ニ之ヲ辨シ苟モ澁滯セシムヘカラス

第九章　患者

第九十八條　入院セントスル者ハ醫員ノ許可ヲ得テ左ノ甲號書式ノ證書ヲ差出スヘシ但シ學用、施療患者ハ乙號書式ニ據ルモノトス

印紙

（甲號書式）

證

何府縣何國何郡何市何町村何番地
戸主氏名族籍職業
姓　名
生年月日

右之者今般入院御治療相願候ニ付テハ本人身上ノ儀ハ私ニ於テ一切引受御規則堅ク爲相守可申候若シ入院料等相滯リタル節ハ私ヨリ速ニ辨償可仕爲後日證書如件

年　月　日

岡山縣病院長姓名殿

追テ私轉居旅行等ノ節ハ御屆出御指揮ニ據リ代人相定メ可申候

（乙號書式）

證

岡山市大字何町何番地
證人姓　名印

印紙

證

何府縣何國何郡何市何町村何番地
戸主氏名族籍職業
姓　名
生年月日

右之者今般學用患者トナシ入院御治療相願候ニ就テハ本人身上ノ儀ハ私ニ於テ一切引受御規則堅ク相守ラセ若シ不都合ノ件出來候節ハ私ヨリ速ニ處置相付ケ決シテ御院ヘ御迷惑相掛ケ申間敷依テ爲後日證書如件

年　月　日

岡山市大字何町何番地
姓　名印

岡山縣病院長姓名殿

追テ私轉居旅行ノ節ハ御屆仕御指揮ニ依リ代人相定メ可申候

第九十九條　證人ハ岡山市中ニ住スル男子ノ戸主ニシテ身元確カナル者ニ限ル

第百條　入院患者ハ治療上妨害トナルヘキ物品又ハ不必要品ノ携帶ヲ許サス

第百一條　入院患者ハ付添看病人ヲ入ルヽモ妨ケナシ最モ病症危篤ノ場合ハ必ス之ヲ要ス

第百二條　入院患者ハ掛醫員ノ許可ヲ得スシテ院外ヘ出ツヘカラス

第百三條　入院患者ハ他ヨリ飲食物ノ贈與ヲ受クル時ハ必ス掛醫員ノ許可ヲ得ルニ非レハ之ヲ飲食スヘカラス

第百四條　入院患者攝生上ノ件ハ總テ醫員ノ指圖ヲ受クヘシ

第百五條　入院患者ハ定規ノ入院料ヲ毎月十日、二十日、末日ノ三度ニ納メ賄料ハ其翌日ニ納ムヘシ但シ退院ノ節ハ期日ニ拘ハラス納ムルモノトス

第百六條　入院患者及附添看病人ハ堅ク院内ノ規則ヲ守リ病床室内等ノ亂雜ヲ防キ且其ノ清潔ヲ保ツヘシ

第百七條　入院患者院内ノ規則ニ違背シ又ハ治療上ノ指揮ニ遵ハス若ハ風紀ヲ紊亂スヘキ行爲アリタルトキハ退院ヲ命スルコトアルヘシ

附則　宿直心得

第百八條　各科助手醫一名ツヽ、調劑司一名調劑司補一名書記一名宿直ヲ爲スヘシ

第百九條　宿直中ニ非常其ノ他ノ異變アルトキハ一面臨機ノ處置ヲナシ一面院長又ハ醫長、部長ニ申告スヘシ但シ通常諸般ノ事務ハ緩急ヲ考ヘ宜キニ從セ處理スヘシト雖重大ナル事件ハ院長又ハ醫長、部長ニ申告シ其ノ指示ニ從フモノトス

第百十條　宿直中ハ外出ヲ許サス

第百十一條　各部、科ニハ宿直日誌ヲ備ヘ處務ノ要項ヲ摘錄スヘシ

第百十二條　助手醫ハ通院及入院患者ヲ診療スヘシ但シ病況ニ依リテハ醫長ノ診察ヲ請フモノトス

第百十三條　助手醫ハ朝暮一回ツヽ入院患者ヲ廻診スヘシ

第百十四條　助手醫ハ患者ノ病症危篤又ハ死亡シタル者アルトキハ其ノ科、醫長及庶務部ニ通知スヘシ

第百十五條　調劑司又ハ調劑司補ハ執務時間外ノ事務ヲ處辨スヘシ

第百十六條　書記ハ執務時間外ノ事務ヲ處辨シ特ニ夜間ハ時々院内ヲ巡視シ諸取締ヲ嚴ニスヘシ

四、舊岡山縣病院病床數及患者人員

年度	病床數			入院患者數			外來患者數			備考
	普通	隔離	結核	實人員	延人員		實人員	延人員		
大正元年度	三〇〇床	二床	二床	三、〇五三人	八二、八一〇人		一七、四八三人 外に施療一四九	×	外來患者延人員の調査を缺く	
大正二年度	三〇三	二	二	三、五三二	八〇、二九〇		一八、四八二 五九	施療 八三、二五六 一六八		
大正三年度	三一〇	二	二	三、六八二	一〇二、八七八		一九、八〇一 二五	一二、一七三 一四六		
大正四年度	二八九	二	四六	三、三三八	九三、二五八		一八、六三三 五	一〇五、九一三 一七		
大正五年度	二八五	二	二五	三、二一〇	八九、四〇四		一九、四六一 四三	一〇七、五一二 一二		
大正六年度	三〇六	二三	二六	三、六七二	九八、六八二		二五、〇三九 二二	一二五、四四九 一九二		
大正七年度	三二二	二三	二三	三、七一九	一〇八、二七二		二五、四九八 二四	一二五、三六〇 一〇八		

大正八年度	三二	一三	一六
大正九年度	三二	一三	一六

四、〇四四	一二、六〇〇	二八、二九六	一四三、一五三	
四、一五五	一〇一、九六一	三三、八二〇	一四六、六一九	

五、舊岡山縣病院入院患者退院事由別人員

年度	全治	死亡	未治退院	治療中	計	備考
大正元年度	一、二八七人	一四六人	一、四五〇人	一七〇人	三、〇五三人	大正二、五、六年度に於て前表入院患者數と吻合せざるものあるも調査の途なきに付縣統計年報所載の儘轉記せり。
大正二年度	一、八九六	一三九	一、四三四	一六二	三、六三一	
大正三年度	一、八九八	一六四	一、四五〇	一六九	三、六八一	
大正四年度	一、五六七	一三〇	一、四五二	一七九	三、三二八	
大正五年度	一、六五八	一二五	一、四二〇	一八六	三、三八九	
大正六年度	一、九五四	一四四	一、五五四	二〇五	三、八五七	
大正七年度	二、一一一	一六三	一、二一〇	二三五	三、七一九	
大正八年度	一、八九〇	一〇九	一、八六四	一八一	四、〇四四	
大正九年度	一、五二四	二六六	二、一九九	一六六	四、一五五	

六、舊岡山縣病院最終數年度間に於ける收入決算額

年度	收入額	支出額	收入殘餘額	備考
大正六年度	一九二、三一三・九〇〇円	一五四、五六七・四五〇円	三七、七四六・四五〇円	支出額は縣費繰替償還金及備品積立金を除外せり
大正七年度	二三四、三二二・八九〇	一八八、七三六・三三〇	四五、五八六・五六〇	
大正八年度	三一〇、五二三・一五〇	二八四、九三五・九八〇	二五、五八七・一七〇	
大正九年度	四〇六、六〇一・一〇〇	三四六、三五五・四五〇	六〇、二四五・六五〇	

昭和十七年四月廿七日印刷
昭和十七年五月二日發行

【非賣品】

岡山醫科大學

岡山東中山下百二十三番地
印刷者　村本万龜男

研精堂印刷所印行

281
51